

【2026 年 10 月 30 日】
送付枚数 本票含め 3 枚

〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX: 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

報道機関 各位

「第 9 回 多階層システム医学シンポジウム」を開催 先端医療 AI と LLM の臨床実装、リアルワールドデータがつなぐ 次世代がん医療と地域医療の未来

この度、山口大学 AI システム医学・医療研究教育センター（AISMEC）および細胞デザイン医科学研究所（RICeD）では、2026 年 11 月 28 日（土）に「第 9 回 多階層システム医学シンポジウム」をハイブリッド形式（会場+Zoom 配信）にて開催いたします。

本シンポジウムは、システムバイオロジーと最新の医療技術を融合し、難治性疾患研究や治療法開発を加速させることを目的として開催しており、第 9 回となる今回は、AI やリアルワールドデータの活用に光を当て、地域医療イノベーションやがん医療の次世代に向けた取り組み、オンプレミス Large Language Model (LLM) による臨床・研究支援など、最新の知見を掘り下げます。

つきましては、取材および報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。
なお、取材を希望される方は、11 月 27 日（金）17 時までにご連絡をお願いいたします。

【開催概要】

- ・行 事 名：第 9 回 多階層システム医学シンポジウム
- ・期 間：2026 年 11 月 28 日（土）13:30～17:10
- ・場 所：山口大学小串キャンパス 第 1 講義室（山口県宇部市南小串 1-1-1）
- ・開催形態：会場参加 + Zoom によるオンライン配信
- ・参 加 費：無料（事前予約制）
- ・主 催：山口大学 AI システム医学・医療研究教育センター（AISMEC）
山口大学細胞デザイン医科学研究所（RICeD）

※プログラムの詳細は、別紙をご参照ください。

【お問い合わせ先】

山口大学医学部総務課広報・国際係
西村
TEL 0836-22-2009
E-mail me268@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学
総務部総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

第9回



AISMEC
AIシステム医学・医療研究教育センター



RICE D
Research Institute for
Cell Design Medical Science

多階層システム医学シンポジウム

2026年 11月 28日(土)

13:30-17:10

会場 山口大学小串キャンパス 第1講義室
(山口県宇部市南小串1-1-1)



Zoom配信あり

参加費
無料
(要予約)

先端医療AIと
LLMの臨床実装

リアルワールドデータ
(RWD) がつなぐ
次世代がん医療

地域医療イノベーション
と社会実装の実践例

システムバイオロジーと最新の医療技術を融合し、難治性疾患研究や治療法開発を加速するシンポジウム。
第9回はAIやリアルワールドデータ（RWD）の活用にあたり、地域医療とがん医療の未来を展望します。

Program

13:30~

来賓挨拶

13:45~

リアルワールドデータが駆動する次世代がん医療
ー 多施設データ基盤からLearning Health Systemへ ー
京都大学大学院医学研究科
リアルワールドデータ研究開発講座 特定教授

松本 繁巳



14:35~

地域医療イノベーションとRWDの取り組み
ー 沖縄における、AI・オンライン診療・RWDによる医療課題解決 ー
株式会社リュウエル 代表取締役
琉球大学先端医学研究センター 特命准教授

泉 晃



15:45~

医用AIの臨床実装に向けた検討：
オンプレミスLLMによる臨床・研究支援
山口大学大学院医学系研究科・医学部附属病院
AIシステム医学・医療研究教育センター 教授（特命）
細胞デザイン医科学研究所 システム医学情報研究部門

中津井 雅彦



16:25~

保険者・健康管理アプリ由来データを用いた
労働生産性損失の機械学習予測
山口大学医学部附属病院精神科神経科 講師
細胞デザイン医科学研究所 システム医学情報研究部門

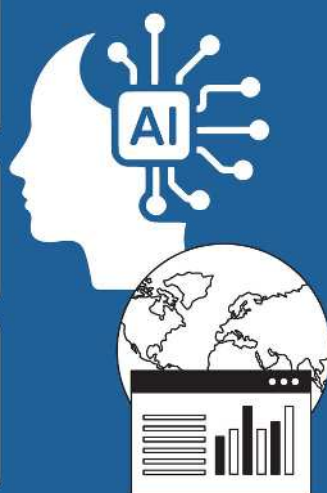
陳 冲



17:05~

閉会挨拶

山口大学細胞デザイン医科学研究所 所長 玉田 耕治



申し込み方法

こちらの二次元コード
を読みこんで、申込を
お願いします。

→ → →



【お問い合わせ】

AIシステム医学・医療研究教育センター事務局



0836-22-2229



aismec@yamaguchi-u.ac.jp

Abstract

リアルワールドデータ（RWD）は、診療実態を記述する情報基盤から、医療を継続的に学習・進化させる知識基盤へと転換しつつある。本講演では、多施設RWD基盤の構築と実装の課題を踏まえ、臨床情報、画像、病理、検査・ゲノム情報をAI・標準化技術により統合する試みを示す。さらに、データ二次利用を通じ、個別化医療、研究開発、医療の質向上を循環的に支えるLearning Health System実現の展望を論じる。

京都大学大学院医学研究科
リアルワールドデータ研究開発講座 特定教授

松本 繁巳



沖縄県は医療資源の偏在が大きく、離島住民や外国人など、既存の医療提供体制では十分に医療が届きにくい層を抱えている。

リュウエルは琉球大学発のヘルステックベンチャーとして、デジタル技術とAIを活用したオンライン診療を沖縄で社会実装し、地域医療が抱える課題の解決に取り組んでいる。

また、地域医療から得られるRWDを活用し、研究やSaMD開発へとつなげる取り組みを進めるとともに、日本RWD学会を立ち上げ、RWD利活用の標準化、人材育成、産学連携を通じて、臨床データを研究・社会実装へ橋渡しする活動を推進している。本講演では、沖縄における地域医療の実装事例と、日本RWD学会を通じたRWD利活用の取り組みについて紹介する。

株式会社リュウエル 代表取締役
琉球大学先端医学研究センター 特命准教授

泉 晃



機微な情報を含む医療分野では、クラウド型LLMの利用に大きな制約が伴う。本講演では、院内稼働のオンプレミスLLMによる臨床実装の試みとして、電子カルテからの疾患レジストリ用データ抽出、およびがん精神療法CALMの面談音声分類の2事例における最新の進捗を報告する。さらに、セキュアな研究支援環境の構築を目指した対話型AIやAIエージェント基盤の実装検証も紹介し、院内計算基盤整備の課題と展望を論じる。

山口大学大学院医学系研究科・医学部附属病院
AIシステム医学・医療研究教育センター 教授（特命）
細胞デザイン医科学研究所 システム医学情報研究部門

中津井 雅彦



健康問題に伴う労働生産性損失は、個人の生活と社会経済の双方に影響するが、多くは顕在化した後に把握される。本講演では、保険者のレセプト・健診情報と健康管理アプリの質問票・歩数を個人単位で連結した大規模縦断データを用い、機械学習により将来の欠勤、出勤時の生産性低下、日常活動障害を予測する研究を紹介する。予測性能に加え、それを支える情報にも目を向け、日常的に蓄積される健康データを予防的支援へつなぐ可能性と課題を論じる。

山口大学医学部附属病院精神神経科 講師
細胞デザイン医科学研究所 システム医学情報研究部門

陳 冲

